

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和4年1月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2022
新春号



稲毛区
桜井秀夫

中央区
酒井伸二

中央区
森山和博

花見川区
村尾伊佐夫

緑区
近藤千鶴子

花見川区
川岸俊洋

美浜区
伊藤康平

若葉区
青山雅紀

本年も皆様のご期待に全力でお応えしてまいります。ご意見やご要望をお寄せください。

公明党千葉市議会議員団

「令和4年度予算編成に関する予算要望および重点要望」を提出!

- 1 市民生活に寄り添った新型コロナウイルス感染症対策への的確な対応。
- 2 税源の涵養など自主財源の確保、資産経営への取り組みの強化。
- 3 行財政改革への取り組みの強化。
- 4 防災対策の強化。
- 5 共生社会構築の推進。
- 6 安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充。
- 7 超高齢社会への対応施策の強化。
- 8 健康づくり・医療施策の推進。
- 9 障がい児・者支援施策の推進。
- 10 子ども・子育て支援事業の推進。
- 11 児童生徒の安全対策および教育環境の整備。
- 12 市民生活に寄り添った新型コロナウイルス感染症対策への的確な対応。
- 13 コロナ禍をふまえた地域経済支援策の充実・強化。
- 14 農政センターのリニューアルプランの推進および農業技師の計画的増員。
- 15 都市の活性化に向けた取り組みの推進。
- 16 病院事業の新たな体制の構築。



市民会館の Topic 再整備について

開館から48年が経過し、建物躯体は耐震補強を行っているものの、給排水など建物を運営する上で基幹となる設備等の老朽化が進んでおり、音響設備のデジタル化や照明設備のLED化などが未導入であるほか、バリアフリーへの未対応など、機能的な劣化も顕著となってきております。

そのようなことから、市民の多様な文化芸術のニーズに対応した本市の文化芸術の中心施設となるよう再整備に係る基本計画(案)が策定され、駅隣接のJR千葉支社跡地に建設予定です。



参照：千葉市民会館再整備にかかる基本計画(案)

第4回 定例会・公明党市議団の代表質問から



都市の魅力や賑わいにつながる公園のリノベーションを！

近年、地域住人の年齢構成やライフスタイルの変化により、公園に対するニーズが変化しています。

本市の身近な公園のあり方や管理運営に関する課題について伺うと共に、公園の魅力向上に向けたマーケット型サウンディング調査の結果と、その取り組みについて伺いました。

市長からは「現在、市内の公園の数は約1100か所となり、その多くで遊具や施設の老朽化、樹木の大木化に伴う周辺への影響、倒木リスクへの対応など、維持管理に関する課題を抱え、地域からも要望を受けています。

一方、マーケット型サウンディング調査の結果とその後の取り組みについては、20の団体から、24の公園に対して33件の提案があり、事業者の公園活用に対する考えを把握するなどの成果がありました。その中で、花島公園におけるキャンプやバーベキューなどのアウトドアに関するものがあり、花見川においてカヤック体験と組み合わせた社会実験を実施しています。令和4年度以降、その成果も踏まえ、新たな民間事業者の募集を進めてまいります。」との答弁がありました。



花島公園

花見川・カヤック体験

医療的ケアができる人材の確保を！

重症心身障がい児・者とは、重度の知的障がいと重度の肢体不自由が重複する者とされ、平成30年度に県が実施した調査では、市内に204人お住まいと聞いています。そこで、本市の重症心身障がい児・者への支援について伺いました。

副市長からは「昨年10月に開設した障害者基幹相談センターを中心に、計画相談支援事業をはじめとした支援機関における専門性を高めることによって、重症心身障がい児・者への支援に対応できる事業所を増やす取り組みを進めていきます。

また、海浜病院では、看護師による退院後訪問のほか、令和3年6月から在宅診療部を立ち上げ、多職種チームによる訪問診療を開始しています。新病院では、医療的ケア児への訪問診療にも対応できるように準備すると共に、急に入院治療が必要になった場合でも医療と継続的な支援等を提供してまいります。」との答弁がありました。



指定障害福祉サービス事業所 さいわい

大規模住宅団地の活性化を求めて！



開発後40年以上が経過した市内住宅団地では人口減少が顕著であり、高齢化率も36%と高く推移している。そうした中、喫緊の課題である高経年住宅団地における活性化の取り組みを求めて伺いました。

副市長からは「UR都市機構の協力のもと、新たな交通サービスとしてシェアサイクルステーションの設置や結婚新生活支援事業などに取り組んできた所です。また、本年10月にはUR都市機構と民間事業者が花見川団地において団地まるごとリノベ

ーションを開始する取り組みが行われました。この花見川団地での取り組みが全国的な成功モデルとなることを目指し、市内の他の住宅団地においても、団地を拠点とした地域のまちづくりに取り組むとともに、多様な主体と連携を模索しながら活性化の施策を進めてまいります。」旨の答弁がありました。



花見川団地を視察



災害に対する消防艇の活用を！

近年、全国各地で大規模災害が頻発している中、今後、発生が予想される首都直下地震による石油コンビナート地区における大規模火災については、消防艇の活用が大変重要であると考え、災害に対する消防艇の活用について伺いました。

副市長からは「京葉臨海地区では本市消防局や東京消防庁などで構成される東京湾相互応援協定に基づく訓練を実施し、連携強化を図っております。千葉港は国際拠点港湾に指定されており、タンカーなどの危険物積載船舶

火災や石油コンビナート地区の災害なども想定されますので千葉港における災害対応能力の強化を図るとともに、消防局内では、水難救助訓練のほか、油流出事故対応訓練などを定期的実施しております。



消防艇を視察

引き続き、消防艇の特性を最大限に活かした運航体制のもと、各種災害に対応してまいります。」との答弁がありました。

市政に関するご意見やご要望をお寄せください！